

ニート防止へ県内サポステ 来月から高校生も支援

出前講座や職場実習

若年無業者(ニート)の自立を支援する徳島県内2カ所の地域若者サポートステーション(サポステ)は、4月から高校生を対象にした就労・自立支援事業を始める。高校と連携して出前講座を開くなどし、早い段階で就労意欲を高め、ニートになるのを防ぐ。中途退学者への支援も行う。

事業を実施するのは、とくしま地域若者サポステ(徳島市寺島本町西1)と、あわ地域若者サポステ(阿波市吉野町西条)。サポステのキャリアコンサルタントや臨床心理士、産業カウンセラ

ーが高校を訪れ、ビジネススマナーやコミュニケーション方法、労働関係法令などを指導。働くことの重要性を親子で認識してもらったため、保護者向けのセミナーも開く。夏休みを利用した職場実習も計画している。

不登校の生徒に対しては、臨床心理士が家庭訪問し、カウンセリングなどを通じて復学を後押しする。中途退学者や高校に進学しなかった人には、高校卒業程度認定試験(旧大検)の合格や通信制高校の卒業を目指し、大学生や教員OBが無料で個別指導する。とくしまサポステは県北と県南、あわサポステが県東と県西の高校を担当。すでに複数の高校と実施に向けて協議を進めている。要望があれば中学3年生も支援する。(新居和人)